

## 第26回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第26回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

### 結果のポイント

- ・総合景気観のDI値は(-26)となった。
- ・前回3月調査値(-12)と比べると(-14)となり、景気観は悪化した。

### 【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成28年6月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査	
		A 現況 (H28. 3)	見通し (H28. 4-6)	B 現況 (H28. 6)	(B-A)		見通し (H28. 7-9)	現況 (H27. 6)
					前回現況 との対比			
総 合	98	-12	1	-26	-14	3	-12	
農業	10	-20	-20	-20	0	20	-20	
建設業	11	-33	-11	-8	25	-1	-33	
製造業	11	-27	-18	-36	-9	-9	-27	
卸売・小売業	25	-29	-8	-20	9	16	-29	
観光業	9	0	30	-89	-89	-30	0	
飲食業	10	-11	11	-30	-19	-10	-11	
サービス業	22	18	18	-9	-27	-4	18	

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
  - (1)現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
  - (2)3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
  - (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
  - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
  - 「DI」(Defusion Index、デフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。